

## 2022年度 船舶関係諸基準に関する調査研究事業に係るIMOへの提案文書一覧

番号	プロジェクト名等	提案先	提案時期	表題	文書番号	提案の概要	IMOでの審議結果
1	IMO GHG削減戦略への対応に関する調査研究	ISWG-GHG 13	2022年10月	Proposal on a feasible and appropriate intermediate target for 2040	ISWG-GHG 13/3	IMO GHG削減戦略改定に関し、2040年目標として「2008年比総CO2排出量50%減」を提案する文書。	IMO GHG削減戦略改定にあたり、本文書も考慮の上で引き続き検討作業が行われることとなった。
2		ISWG-GHG 13	2022年10月	Comments on proposal for the GHG Fuel Standard	ISWG-GHG 13/4/5	欧州が提案するGHG削減中長期対策「GHG Fuel Standard (GFS)」に関し、その規制枠組み（基準値や規制対象）について論じる文書。	GHG削減中長期対策について、本文書も考慮の上で引き続き検討作業が行われることとなった。
3		ISWG-GHG 13	2022年10月	Refined proposal on Zero-Emission Shipping Incentive Scheme (ZESIS) to incentivize GHG emission reduction and to make an equitable transition	ISWG-GHG 13/4/6	日本が提案するGHG削減中長期対策「Zero-Emission Shipping Incentive Scheme (ZESIS)」に関し、その制度枠組みの詳細を説明する文書。 ※フィーバート制度、即ちCO2排出に対する課金及びファーストムーバーへの還付を基礎とする経済的手法	GHG削減中長期対策について、本文書も考慮の上で引き続き検討作業が行われることとなった。
4		MEPC 79	2022年10月	Comments on the final report of the Correspondence Group on the Possible Introduction of EEDI Phase 4 (document MEPC 76/6)	MEPC 79/6/4	EEDIフェーズ4に関するコレスポンドンス・グループ報告書に対し、その主要な論点について意見を提示する文書。	EEDIフェーズ4について、引き続き検討作業が行われることとなった。
5		MEPC 79	2022年10月	Interim report of the Correspondence Group on Marine Fuel Life Cycle GHG Analysis	MEPC 79/7/12	日本が中国及び欧州委員会とともにコーディネータを務めた燃料ライフサイクル評価ガイドライン策定に関するコレスポンドンス・グループ中間報告書。	燃料ライフサイクル評価ガイドラインについて、MEPC 80での最終報告を目指し、コレスポンドンス・グループで引き続き検討作業が行われることとなった。
6		ISWG-GHG 14	2023年2月	Revision of the Initial IMO Strategy on reduction of GHG emissions from ships	ISWG-GHG 14/2/7	IMO GHG削減戦略改定に関し、現在提案されている各種削減目標について論じる文書。	IMO GHG削減戦略改定にあたり、本文書も考慮の上で引き続き検討作業が行われることとなった。
7		ISWG-GHG 14	2023年2月	Further proposal on Zero-Emission Shipping Incentive Scheme (ZESIS)	ISWG-GHG 14/3/1	GHG削減中長期対策に関し、今後の絞り込みの議論に資するよう、経済的手法が共通して持つべき要素、を論じる文書。さらに、日本が提案するGHG削減中長期対策「Zero-Emission Shipping Incentive Scheme (ZESIS)」について、今後の詳細化において検討すべき主要点（適用、課金・還付の仕組み、資金管理等）を提示する文書。	GHG削減中長期対策について、本文書も考慮の上で引き続き検討作業が行われることとなった。
8	海洋水質・生態系保護基準整備に関する調査研究	PPR10	2023年3月	Comments on document PPR 10/12 in relation to the direct confirmation of type approval testing by the Administration	PPR10/12/2	汚水処理装置の型式承認試験について、行政立ち合いの元の製造事業者での実施を可能とするよう、提案する文書。	2023年4月のPPR10で審議予定。
9		PPR10	2023年3月	Comments on the report of the Correspondence Group on Review of the Biofouling Guidelines	PPR10/5/10	船体付着生物ガイドライン案の実行可能性を向上させることを提案する文書。	2023年4月のPPR10で審議予定。
10	水中騒音対策検討に関する調査研究	SDC 9	2022年12月	Comments on the concept to manage the underwater radiated noise level of each ship proposed by the Correspondence Group on review of the Guidelines for the Reduction of Underwater Noise (MEPC.1/Circ.833)	SDC 9/5/4	水中騒音ガイドラインレビューに関し、コレスポンドンス・グループで作成した水中騒音ガイドライン改正案について、その中で提案されている水中騒音管理手法について論じる文書。	日本提案は審議の中で考慮された。
11		SDC 9	2022年12月	Comments on the next steps proposed by the Correspondence Group on review of the Guidelines for the Reduction of Underwater Noise (MEPC.1/Circ.833)	SDC 9/5/5	水中騒音ガイドラインレビューに関し、ガイドライン改正後に試行期間を設けることを提案する文書。	同上。
12		SDC 9	2022年11月	Report on underwater sound measurements in Japan and discussion on estimating source levels of underwater radiated noise from a ship	SDC 9/INF.10	日本で実施した実船水中騒音計測について情報提供する文書。	日本が提供した情報は審議の中で考慮された。
13		SDC 9	2022年11月	Study on comparison of operational and design approaches based on the relationship between Underwater Radiated Noise (URN) reduction measures and GHG emission	SDC 9/INF.11	水中騒音低減アプローチとして、保護海域における減速運航の有効性を情報提供する文書。	同上。
14		自動運航船の開発・実装に係る制度の研究に関する調査研究	MSC 106	2022年8月	Draft provisions of navigational tasks/functions for the International Code of Safety for MASS	MSC 106/5/1	現在策定作業中のMASSコードのうち、自動航行のタスク／機能に関する主要な要素を、条文案の形式で提供する文書。
15	MSC 106	2022年8月	Results of demonstration tests of fully autonomous ship navigation on "MEGURI 2040"	MSC 106/INF.4	日本財団無人運航船プロジェクト「MEGURI 2040」の下で実施された実証実験に関する情報を提供する文書。	上記審議において、本コメント文書は考慮された。	
16	MASS-JWG 2	2023年3月	Proposal on the key elements of MASS common issues	MASS-JWG 2/2/2	3委員会下にある文書において、特にMASSマスターに関するMASS共通の問題を検討するための重要な要素と、それらに対処する方法について提案する文書。	2023年4月のMASS-JWG 2で審議予定。	
17	MSC 107	2023年3月	Proposal text for a human element section in the draft MASS Code	MSC 107/5/6	MASSコードにおける人的因子に係る部分のテキストを提案する文書。	2022年5月のMSC 107で審議予定。	
18	ガス燃料船・新液化ガス運搬船基準の策定に関する調査研究	CCC 8	2022年7月	Scope of application of piping systems testing	CCC 8/10/7	IGCコード5.13.2の管システム試験の適用範囲の改正を提案する文書。	日本等の提案に基づき、IGCコード5.13.2の改正案に合意した。
19		CCC 8	2022年7月	Requirements for prevention for cargo tank becoming liquid full	CCC 8/10/8	IGCコード15.1.4に関し、貨物タンクの液封防止措置を提案する文書。	CCC 8において結論は得られず、次回会合（CCC 9）において審議することとなった。
20		CCC 8	2022年7月	Ventilation requirement for the space not normally entered in the cargo area	CCC 8/10/9	IGCコード12.2.2の通常人が入らない区域の機械通風の改正を提案する文書。	日本等の提案に基づく改正方針に合意したが、引き続きコレスポンドンス・グループにおいて検討することとなった。
21		CCC 8	2022年7月	Comments on document CCC 8/10/1 on CO2 classification	CCC 8/10/12	現在の二酸化炭素の「窒息」の分類に「毒性」を加える提案(CCC 8/10/1)に対しコメントする文書。	二酸化炭素を毒性貨物として考慮すべきことに合意したが、どの要件を適用するかについて、コレスポンドンス・グループで検討することとなった。
22		CCC 8	2022年6月	Report of the Correspondence Group (safety information for the use of ammonia)	CCC 8/13	「低引火点燃料を使用する船舶の安全に関する技術規定の開発」CGのうち、アンモニアに関する情報収集を行うTOR部分の報告書。	CGにより得られた成果及び日本等の提案に基づき、コレスポンドンス・グループにおいてアンモニア燃料船のガイドライン案の作成を進めることとなった。
23		CCC 8	2022年6月	Summary of comments provided to the Correspondence Group (safety information for the use of ammonia)	CCC 8/INF.10	「低引火点燃料を使用する船舶の安全に関する技術規定の開発」CGのうち、アンモニアに関する情報収集を行うTOR部分における各国意見等をまとめた情報提供文書。	同上。

24	ガス燃料船・新液化ガス運搬船基準の策定に関する調査研究(続き)	CCC 8	2022年7月	Issues to be considered and possible way forward for the development of guidelines for the safety of ships using ammonia as fuel	CCC 8/13/1	アンモニア燃料船のガイドラインを策定するにあたっての検討が必要となる事項についての情報提供と、検討の進め方を提案する文書。	同上。
25		CCC 8	2022年7月	Proposals for revision of the structure of the Interim Recommendations and the way forward	CCC 8/14	「液化水素ばら積み運送のための暫定勧告(以下「暫定勧告」という。)」の改正にあたり、暫定勧告の構成及び作業の進め方を提案する文書。	我が国等が提案した液化水素運搬船の暫定勧告の見直しの方向性が合意され、次回会合（CCC 9）に向け、我が国を中心に改正案を検討することとなった。
26		CCC 8	2022年7月	Safety measures for a new liquefied hydrogen carrier	CCC 8/14/1	CCC 8/14の暫定勧告の見直しに関し、液化水素運搬船の安全対策を提案する文書。	同上。
27	救命設備諸基準改正の検討に関する調査研究	MSC 106	2022年10月	Ventilation requirements for totally enclosed lifeboats	MSC 106/11/3	生存艇の換気要件について、全閉囲型救命艇の換気要件のみを承認し、部分閉囲型救命艇と救命いかだの換気要件は不要とすることを提案する文書。	日本の提案に基づき、全閉囲型救命艇の換気要件のみが承認された。部分閉囲型救命艇と救命いかだの換気要件の必要性はSSE 9にて改めて審議されることとなった。
28		SSE 9	2022年12月	Lack of a compelling need for new ventilation requirements for partially enclosed lifeboats and liferafts	SSE 9/3/8	生存艇の換気要件について、部分閉囲型救命艇と救命いかだの換気要件は不要とすることを提案する文書。	日本と同様に部分閉囲型救命艇と救命いかだの換気要件は不要とする意見と、逆に必要とする意見が拮抗したため、次回SSE 10に審議が延期された。
29		SSE 9	2022年12月	New righting test procedure for lifejackets	SSE 9/8	救命胴衣の復正試験について、衣服を用いた試験の代わりに浮力材を用いた試験方法を提案し、関心のある国に追加実験を呼びかける文書。	日本提案は概ね支持され、各国に対して追加実験の実施が要請された。
30		SSE 9	2022年12月	Results of righting tests of lifejackets using buoyancy materials	SSE 9/INF.2	救命胴衣の復正試験について、衣服を用いた試験の代わりに浮力材を用いた試験方法に関する日本の実験結果を提供する文書。	日本が提供した情報は審議の中で考慮された。
31	IMOフォロー 防火検討会	SSE 9	2022年12月	Comments on document SSE 9/6	SSE 9/6/1	コレスポンデンス・グループで作成されたRORO旅客船の火災安全に関するSOLAS改正案に修正を提案する文書。	日本提案は審議の中で考慮され、SOLAS改正案が最終化された。
32	IMOフォロー 船上揚貨装置及びアンカーハンドリングウィンチ検討会	MSC 106	2022年10月	Comments on document MSC 106/11	MSC 106/11/7	SSE 8で作成された揚貨装置に関するガイドライン案のテキストに語句修正を提案する文書。	日本提案は審議の中で考慮され、ガイドライン案が承認された。
33	IMOフォロー SOLAS II-1章機能要件検討会	SDC 9	2022年10月	Report of the Correspondence Group	SDC 9/7	日本がコーディネータを務めたSOLAS II-1章の目標及び機能要件に関するコレスポンデンス・グループの報告書。	日本が提出した報告書に基づき、SOLAS II-1章の機能要件が検討された。